

音の未来をデザインする

芸術 × 工学

「遠隔地セッション」と

「多様な音空間再現」を目指した

新しい演出形態のデモンストレーション

2013.11.03.SUN

13:00 開場 14:00 開演 / 17:00 開場 18:00 開演

開場後、ステージで利用するものと同様のシステムをご自由に体験していただけます。

開催場所：九州大学大橋キャンパス多次元デザイン実験ホール

入場料：無料

音の未来をデザインする — 芸術 × 工学 —

観客を音楽の小旅行に連れ出す

音場伝送と臨場感再生を用いて多機能化を目指した新しい演出形態のデモンストレーション。

遠隔地での双方向セッションに加え幅広いジャンルのアーティストが演奏。映像効果と併せて超臨場感を与える。観客を今まで体験したことがないような感覚にさせる。

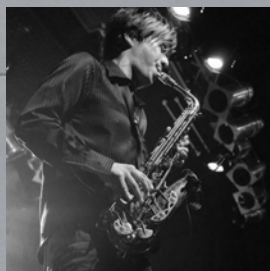
出演者情報



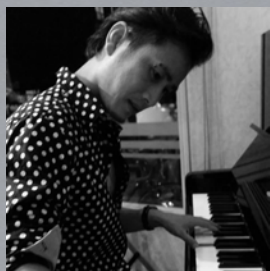
[中西久美 (なかにしくみ) /fl]
フルート奏者、フリーアナウンサー、TEAM 美魔女メンバー
福岡市生まれ。
5歳よりピアノを、10歳よりフルートを始める。福岡ジュニアオーケストラに入団。
東京藝術大学附属音楽高校、及び東京藝術大学音楽学部器楽科フルート専攻 卒業。
フルートを、疋田美沙子、三上明子、小泉剛、各氏に師事。
第43回全日本学生音楽コンクール東京大会第3位。
第10回宮日音楽コンクール優秀賞。



[岩松知宏 (いわまつともひろ) /gt]
1988年生まれ。15歳よりギターを始める。フォレストヒルミュージックアカデミーにて中野義久、池田慎司の各氏に、ソルフェージュを夏川由紀乃氏に師事。これまでに福田進一、藤井真吾、大萩康司T・コルホーネン、W・カネンガイザー、各氏のレッスンを受講。
2005年第30回東京G.L.C学生ギターコンクール高校生の部。第3位。
2009年山口ギターコンクール上級の部第2位。
サウンド楽器 ギター科講師。粕屋クラシックギタークラブ ギター科講師。
ミュージックスペースN2 ギター科講師。中西音楽教室、ギター科講師。 福岡市在住。



[安武玄晃 (やすたけもとあき) /sax]
福岡県小郡出身。病をきっかけに16歳よりアルトサックスを始める。2007年、スムーズジャズ&ゴスペルジャズの聖地ロサンゼルスに渡り音楽スピリットを学ぶ。2009年、世界最高峰SAX奏者RonBrown氏に師事。翌年RonBrownプロデュースによるデビューアルバム「Break Through」を全国リリース。そして2011年、アルバムリリース&東北復興応援ライブとして、日本の第一線で活躍するミュージシャンの協力により、安武玄晃 BreakThrough「届け東北へのサックスの祈り」第一弾を福岡 Gate's7で、翌年には第二弾を東京 BLUES ALLEY JAPANで開催する。「音楽のための人生ではなく 人生のための音楽」を心がけ、Gospel Jazz&SmoothJazzといった日本では新しいスタイルを発信している。テレビやラジオにも多数ゲスト出演。



[西田勇 (にしだいさむ) /pf]
幼い頃から音楽環境に恵まれた教会で育ち、ゴスペルギタリストとして歩み始める。
今までにLarry Carlton、Paul Jackson Jr.など、そのカリフォルニアサウンドに影響を受け、自身のスタイルを確立する。J-street、アメージンなど、数多くのアーティストCDのプロデュースやアレンジも手掛け、メジャーアーティストなどサポートプレイヤーとして活躍する傍ら、作曲家やピアニストとしても活躍するなど幅広い才能を発揮する。自ら作詞作曲した「君の呼ぶ声」は、サックス奏者の安武玄晃アルバム「BreakThrough」でもカバーされ、FMラジオにて紹介され反響をよんでいる。スピリット溢れるプレイは彼の世界へと引き込み、多くの人々に感動を与えている。



[中間亮佑 (なかもりょうすけ)]
1988年兵庫県神戸市生まれのメディアアーティスト兼ベーシスト。
幼い頃から音楽と接する機会が多く、過去にピアノやギター、トランペットなどの様々な楽器の演奏経験を持つ。大学入学後では音響学を学び、中村滋延の下でメディアアートの制作を行うようになる。フランスで生まれたシステムであるアコースモニウムから影響を受けて制作した演奏システム《GURURI》を用いた演奏は瀬戸内国際芸術祭2013などでも披露され、反響を呼んでいる。

ホールマネジメント育成プログラム (HME) とは

ホールマネジメント育成プログラムとは、平成24年度から九州大学大学院芸術工学府修士課程に設置されたプログラムで、劇場、ホール等の音響、照明、舞台機構等に関する工学的知識及び文化芸術に関する知識を備えた、施設の総合的管理運営能力を有する人材を育成することを目的としている。ホールマネジメントエンジニア育成ユニット (HME 育成ユニット) をその前身としている。開設期間には多くの公演を企画・実施してきた。

その育成プログラムの開講科目のひとつが「ホールマネジメントエンジニアリングプロジェクト」であり、この課目では、芸術についての知識・教養、マネジメント能力、工学基盤技術を駆使して実際の公演企画を遂行する。またそれに向けて、仮想企画の立案を行い、ホールマネジメントに関する経験を培うことを目的とする。